



来年 2022 年は寅年です。

寅年は春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だとされています。正確な干支は「壬寅（みずのえとら）」です。

「壬」は「妊に通じ、陽気を下に妊（はら）む」、「寅」は虫偏に寅＝ミミズに通じ、春の草木が生ずる」という意味があります。そのため「壬寅」は厳冬を耐えたのちの春の芽吹きは生命力に溢れ、新しい成長の礎となるイメージ、ということです。

「虎は千里往って千里還る」ということわざがあります。虎が、一日のうちに千里もの距離を歩き、さらに戻って来ることができる、ということから、活力に満ちた、行動力のあるさまなどを表す言い回しです。また、巣穴に残した子どもを思って千里の道も帰るといふ親心を意味することもあります。

この言葉は、戦時中に女性たちが兵士として発つ男性たちに渡した「千人針」の由来になりました。虎の絵柄の布を用いたり、寅年生まれ女性には年の数だけ縫ってもらったりしたそうです。

また来年はただの「寅年」ではありません。「五黄の寅」という、九星と称する中国の民間信仰と十二支を組み合わせたもので、36年に一度、言い換えれば寅年の3回に1回が「五黄の寅」になります。

「五黄」とは、星は土星・方角は中央ということで、運氣が高いとされています。

2022年でもコロナに負けず、明るいな年となるよう、皆でがんばっていきましょう！

.....
虎のトリビア
.....

- ・世界最大のネコ科動物で、20世紀初頭、10万頭が生息していたと推定されるが現在約4,000頭前後にまで減少、世界的に絶滅が心配されている
- ・生息域は、中国北部やロシアなどの寒帯、インドやベトナム、マレーシア、インドネシアなどの熱帯から亜熱帯に及ぶ。次の9亜種に分類され6亜種のみ現存（ベンガルトラ／シベリアトラ（アムールトラ）アモイトラ／インドシナトラ／マレートラ／スマトラトラ／〔絶滅：カスピトラ／バリトラ／ジャワトラ〕）
- ・トラの縞模様は、茂みなどに身を隠す際、体の輪郭をぼやかす効果がある・ホワイタイガーはネパールからインド、インドシナに生息するベンガルトラの白変種
- ・単独で狩りをし、待ち伏せするより積極的に探し回る。一晩の狩りで10～20kmを歩くが、狩りの成功率は低く、10回に1回程度
- ・ネコ科動物は「水浴びを嫌う」という共通点があるが、トラは水浴びが好き。体を冷やすためや、狩りの前に自分の匂いを消すために水浴びをすることもある
- ・ライオンとのハーフが生まれることがある。オスがトラなら「タイゴン」、ライオンなら「ライガー」。人工飼育のもとに限ったことで、野生では見られない
- ・「男はつらいよ」の車寅次郎は、寅年生まれではなく「とらや」の軒先に捨てられていたことから寅次郎と命名された

【寅年生まれの有名人（敬称略）】

- 1938年生まれ…小林旭、ミッキー・カーチス
- 1950年生まれ…奥田瑛二、舘ひろし、市毛良枝、辺見マリ、由美かおる
- 1962年生まれ…柳沢慎吾、寺脇康文、豊川悦司、山咲千里、高木美保、松田聖子
- 1974年生まれ…草?剛、国分太一、吉田羊、戸田菜穂、華原朋美
- 1986年生まれ…小池徹平、亀梨和也、北川景子、石原さとみ
- 1998年生まれ…中川大志、広瀬すず、藤田ニコル、みちよば
- 歴史上の人物～
- 1530年生まれ…上杉謙信
- 1542年生まれ…徳川家康
- 1770年生まれ…ベートーヴェン